

しみずっこ新聞

令和4年12月発行 第148号 清水学園付属幼稚園

12月に入るまでは「季節外れの暖かい陽気…」などという声を聞くことが多かったため『今年の冬は、このまま暖かいのかな～？』と期待していましたが、やはり…しっかりと…冬がやってきました。日中の肌を刺すような冷たさと、夕方4時をすぎると、みるみるうちに暗くなっていく風景が、師走（しわす）を感じさせます。テレビをつければ、毎日様々なニュースが聞こえてきますが、年末年始だけは、誰もが、心穏やかな日々をすごせるといいな…と思います。



子ども達と先生が、一生懸命に駆け抜けてきた2学期が終わります。「2学期…がんばった子、手を挙げて～！」と子ども達に尋ねれば、間違いなく、全員が大きな声で「はーい！！」と返事をするはず…。それくらい、たくさんの達成感が詰まった4ヶ月間でした。記憶に新しい『発表会』でも、子ども達の成長と頑張りを、いくつも発見することができました。中でも印象的だったのは、当日ではなく、総練習・予行練習での年長さんの姿でした。〈総練習は、クラスで練習してきた出し物がようやく形となり、初めて大勢の人の前で披露します。予行練習は、総練習でもらったアドバイスを加え、全員が衣装に着替えて本番同様に行きます。〉ステージで演じるクラス以外の子ども達は、椅子に座り演技を見るのですが、特に…年長さんが、つぼみさんや年少さん・年中さんの演技を見る姿が、今でも目に焼き付いています。演技を見るというよりは、小さい子達の様子を心の中で応援しながら、優しく見守っているという感じだったのでしょうか？練習後に何人かの年長さんに感想を尋ねると、【〇〇組のダンス…すごくかわいいね☆】【〇〇ちゃん、前よりも上手になってたよ！】【僕は、〇〇組のリズム劇が好きだな…】【〇〇の役…すごく面白いよね！】小さい子達が聞いて嬉しくなる言葉、「次の練習もがんばろう！」と思える言葉をたくさん話してくれました。発表会当日の子ども達の姿は、『子ども達が本番に強い！』ということの他に、もう一つ…みんなからの暖かい思いが力になっていたということも覚えていただければ…と思います。駆け抜けてきた2学期…。「がんばった先生、手を挙げて～」と先生達に尋ねれば、間違いなく全員の先生が「はーい！！」と返事をするでしょう（笑）。

これからも、しみずのみんなで力を合わせて頑張っていきます☆

どうぞよろしく願いをします！

☆クリスマス会をしました☆

今年は、平塚を本拠地とするサッカーJリーグチームの【湘南ベルマーレ】から、マスコットの『キングベル』が、清水幼稚園のクリスマス会にスペシャルゲストとして登場しました。（湘南の海をイメージし、ギリシャ神話の神“ポセイドン”をモチーフにしたマスコットだそうです☆）ステージの幕が開くとともに神々しく登場した『キングベル』に、子ども達はもちろん、先生達も大興奮！！キングベルへの質問コーナーでは、園長先生の「清水幼稚園の子ども達が、どんなことをしたらワールドカップ選手のようにサッカーが上手になりますか？」という質問に、「これをしたら上手になる…ということはありません。大事なのは、あきらめない気持ちです！」と答えてくれました。忙しいサンタさんの代わりに、子ども達一人ひとりにサンタさんから預かったクリスマスプレゼントを渡す役目を果たし、みんなに見送られながら帰っていく姿は、まさに『神様』でした。清水幼稚園にとっては、キングベルの登場そのものが、何よりものクリスマスプレゼントになりました。



クリスマス後（12月19日）の『体育ローテーション』の時に…
年中さんのK君が、「ぼく、あきらめないでやってみたら、鉄棒のでんぐり返しが2回もできたよ☆」と報告しに来てくれました。
「キングベルさんが教えてくれたから、あきらめなかったの？」と聞くと、
「そう！」という返事。
世界に飛ばたくスターの、第1歩を目撃したような気持ちでした。



合言葉は【あきらめない気持ち】です！



☆お餅つきをしました☆



12月14日（水）。前日の雨とは違って変わり、晴天の中でのお餅つきとなりました。登園した子ども達に「今日は、お餅つきだよ～」と声をかけると、「ぺったんこ♪ それぺったんこ♪」と、ばらさんの劇で出てきた「餅つきの歌」の大合唱が始まってしまうほど、子ども達の心は、もう、朝から…餅つき一色！ 窯で蒸かすもち米がやわらかく蒸しあがったところで、お餅つきが始まりました。

つぼみさん・年少さんは、白川先生に手を添えてもらい3回ずつ…

年中さん・年長さんは、ひとりで5回。

上手につく子… 杵の重さで、よろよろとよろけてしまう子… お餅ではなく臼をついてしまう子…（笑）子ども達の様子を間近で見ながら返し手をしていましたが、どの子も嬉しそうに、そして満足気についている姿が印象的でした。自分でついたお餅は、それはそれはおいしかったようです。「うちで食べるおもちより、おいしかった！！」なんて、この上ない感想も聞こえ、大成功のお餅つきになりました☆

☆ 令和4年…寅年が終わります。寅年は『新しく立ち上がったことが成長する年』とされているそうです。1年を振り返り、何がそれに当てはまったかを思い返してみると… 満3歳・つぼみ組が20名の〈クラス〉としてスタートし、これからのつぼみ組にとっての道しるべになるような1年がすごせたこと… そして、つぼみさん達が、お兄ちゃんお姉ちゃん達と一緒に、楽しくのびのびと幼稚園に通えたこと… が、清水幼稚園としての寅年の象徴だったのかもしれないな…と思います。
～ 今年も1年お世話になりました。皆様…よいお年を(*^_^*) ～ 富田